

収蔵企画展

「キレイ・カワイイ・オモシロイ」開催中

▼会期 4月15日(日)まで
※一部展示替えを行います(3月20日までが前期展示)

▼新収蔵品紹介 サッカーチーム・ジュビロ磐田のジュビロくんのモデルでもある「サンコウチョウ」とトルコキキョウが描かれた大皿です。佐野市出身の陶芸家・島田文雄さん(東京藝術大学教授)の作品です。当館での「島田文雄展」(平成22年)をきっかけに、島田さんよりご寄贈いただきました。



島田文雄《彩磁三光鳥文大皿》

「キレイ・カワイイ・オモシロイ」
展で展示中です(4月15日まで)。
▼開館時間 午前9時30分〜午後5時
▼観覧料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
▼2・3月の休館日 毎週月曜日、祝日の翌日(3月21日)
▼作品鑑賞会 3月11日(日)午後2時から(自由参加、要観覧券)

■吉澤記念美術館☎(86)2008

「雛人形展」開催中

▶会期 4月11日(水)まで

一般の方から募集した雛人形を中心に展示、紹介しています。昔のお雛様から最近のお雛様まで、愛らしいお雛様をぜひご覧ください。



昨年の雛人形展の様子

▶開館時間 午前9時〜午後5時

▶観覧料 無料

▶2・3月の休館日

毎週月曜日、3月21日(水)

○次回展「佐野の鋳物展」展示品募集

次回展「佐野の鋳物展」4月21日(土)〜7月1日(日)の期間中、お持ちの天明鋳物を展示してみませんか。

▶募集期間 3月20日(火・祝)まで
▶展示品内容 天明鋳物に関するもの
▶その他

- ・搬入、搬出にご協力いただける方(無理な方はご相談ください)
- ・展示終了後、ご返却します
- ・展示を希望される方は、葛生伝承館へ電話でご連絡ください

■葛生伝承館☎(84)3311

「茶陶への思い展」[小特集:田村耕一、リズム&スピード]開催中

焼物の伝統的技法や田村の多彩な陶技によって表現された茶陶の世界(茶盤・水指・花入・陶匣・漆など)をお楽しみください。

※茶の湯に使う陶器を茶道用語で「茶陶(ちゃとう)」といます



青磁柿文陶匣

▶会期 3月18日(日)まで
▶開館時間 午前9時〜午後5時

■人間国宝田村耕一陶芸館☎(22)0311
(まちなか活性化ビル「佐野未来館」1階)

「田中正造翁ゆかりの資料は
ごぞいませんか？」

博物館では、5月3日(祝)から、第57回企画展「田中正造遺墨展」を開催する予定です。博物館では正造翁の関係資料を探しています。ご家庭に田中正造翁ゆかりの資料(書簡や遺墨など)はありますか？正造翁ゆかりの資料がありましたら、ぜひ博物館へご連絡ください。



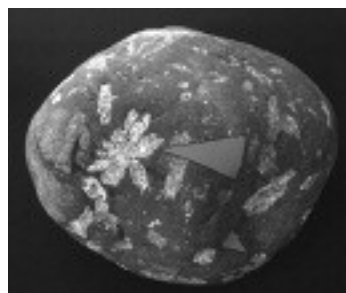
被害地図をしたための田中正造

■郷土博物館☎(22)5111

化石・ほっけん!

桜石

no. 35



桜の花びらのように見えるこの模様は、その見た目から地元で「桜石」と呼ばれています。この石は渡良瀬川の河原で採れたもので、岩石のもともとの産地は足尾山地です。

この模様は、まず地下の粘板岩がマグマの熱などで熱を受け変成した時に堇青石(きんせいせき)の結晶ができます。その後、堇青石の六角柱状結晶が分解され、その形を残したまま白雲母や緑泥石に変化してできました。

ただいま化石館では、受験生応援展示としてこの桜石を入口横(ティラノサウルスのとなり)に展示しています。この石のように、桜が咲きますように。

■葛生化石館☎(86)3332